

徳之島から 首都圏の 施工管理を実現

プレイヤーであり
マネージャーとして
Log Systemは必須です。

OKUTA



今回は、施工管理次長として 20 名の監督を取りまとめている山口剛様へインタビューさせていただきました。
場所と時間にとられないリモート管理が実現し、若手現場監督を一人で抱え込ませない職場環境へ改革した事例です!

現場監督の課題

- 現場に行かないと現場管理ができなかった
- エリアや拠点によってフォロー体制がバラバラだった
- 品質管理が監督のスキルや経験値によって差が出る

現状と効果

- ✓ 移動時間も削減で生産性向上! さらに移住先からも仕事を続けられる新しい働き方の創出
- ✓ 時間や場所問わず、現場情報を共有してチーム体制でカバーできるようになった
- ✓ 経験豊富なベテランの知見や良い現場事例をストックし、常にだれもが学べる環境

— Log System を使ってみての印象はどうか?



Log Walk は現場状況を死角がない VR で見れるので**本当に移動しなくても見たいところ見られて、「現場に行けてる」感覚**になりますね。まさに、どこでもドアって感じです(笑)

やっぱり写真だけだと、撮影した人の目線で撮影されているから他の人が見たら「そこじゃないところを撮影してほしい〜」って思うことが多々あります。そのため、まず撮影の仕方から教育が必要になる場合もありました。

ですが、**360度カメラ撮影だと誰が撮っても同じ品質で現場情報がアップされる**し、それぞれ重要視したい目線で現場をチェックできるのですぐにリモート現場管理体制が構築しやすいんです。それに**いつでも過去にさかのぼれる**から、突発的な対応やフィードバックに対してすぐに社内共有できています。

—Log System 導入前と導入後で大きく変わって点は？



現場管理における「現場に行かないと分からない、管理できない」という考え方が大きく変わりました。私たちの会社は東京・神奈川・千葉・埼玉の各エリアに本社合わせて 18 拠点展開していますが、そういった中で人員が少ない拠点の場合、どうしてもそのメンバーに現場管理の業務負荷がそのままかかってしまいます。従来はエリア的に移動できないと見れない現場がありましたが、Log System のおかげで今までフォローできなかった他の拠点メンバーについても手厚くフォローができるようになりました。個別フォローに加えて、いつでも現場にいるかのように現場確認できるため全員で見ながら全体指導にも役立っています。それぞれで悩んでいることをその場で出し合いながら共有でき、社員同士のミーティングやコミュニケーションの質がアップしています。

現場管理は孤独な世界で独りよがりになりがちなので、特に若いメンバーにとっては何か困った際にすぐに共有できる拠り所ができていますので精神的な重荷も取っ払えていると感じます。経験豊富な知見あるメンバーが場所問わず、チーム体制でフォローやカバーができるのでスキル問題で発生する課題を解消しています。Log System 導入したことで体力的な要素もそうですが、人に寄り添える職場環境にできていることは管理職としても嬉しいですし、安心です。

—Log System を使って具体的にどういった社内教育を実施していますか？

VR 現場状況を URL 発行してすぐに全社共有できるので、良い事例や悪い事例をコメントと一緒に社内の SNS ツールに定期的に配信しています。私たちの現場管理方針として「図面どおり作る人じゃなくて現場を見て+αしていいものを作る人になること」という想いを大事にしています。今まであればその細かい現場感覚を管理職メンバーが移動して直接現場で会わないと共有できなかったが、Log System であれば場所問わずすぐに伝えることができるので社内教育の幅が広がりました。また、ベテラン見解や知見を VR 上にコメントとして残せるので会社ノウハウを自然とストックできていますし、ベテラン同士も新しい発見もあったりでお互い切磋琢磨しながらスキルアップできています。なかなか他エリアの現場のことを知りたくても知れない事が多いですが、Log System だと他の現場すぐに覗けに行けますからね。



—Log System は品質管理の部分でも効果や改善はありましたか？

従来の品質チェック体制は現場管理担当者とマネージャーが 2 名体制で現場に行き、同じ時間に人件費 2 倍かけて実施しておりました。どちらかの直前の打ち合わせが長引いたりして、現場待ち合わせの予定がズれることも多かったので非常に非効率でした。容易にスケジュール変更が発生することで、それ以降の全てのスケジュールに影響が出てきていたので再度日程調整したり面倒くさい業務が増えてばかりでストレスもありました。ですが、Log System が導入されてから時間や場所にとらわれず現場確認できるようになったので飛躍的に生産性が向上しています。管理職メンバーが事前に現場チェックを行い、もう一人の現場担当者が指摘事項を明確にした状態で現場確認に行けるのでお互い無駄なく品質チェックに対して効率的に改善されました。

—Log System のサポート体制についてどのような印象ですか？



操作マニュアルに関してはヘルプページでいつでも見直せるし、サポート問合せもすぐにできるので非常に助かっています。ま、もともと機能や操作も分かりやすくシンプルなので一度覚えてしまえば問題ないです!それ以上に嬉しいサポートは、毎週の事例集配信サービスですね♪実際に使っている現場の声は、やっぱり現場の自分たちには一番響きます!直近の事例では、「コンセント位置のミス事例あるある。」を見て、「ああ〜分かる〜!」って大きく共感しましたよ。またいつでも振り返ることができるので、同じようなミスした際にいつも見返して改めて学んでいます。Log System のサポート体制は「どう運用するか、どう現場で使うか」を重要視してくれているので、現場に刺さる具体的な改善提案があることで自分たちに合ったリモート現場管理体制がしっかりと構築しやすいです。

—どんな人に Log System をぜひ使ってもらいたいですか？

まず、現場管理の経験が浅いメンバーにぜひ使ってもらいたいですね!現場で起こっている悩みってその場でしか伝えられなかったり、スマホ撮影した写真だと部分的な情報でうまく説明できなかったりで、、、どうしても一人で抱え込みやすい環境になりやすいと思います。Log System があれば、死角がない状態でビジュアルでしっかりと経験あるメンバーとすぐに共有でき、相談しやすいので精神的な負荷も軽減できます。また、同時にマネージャークラスだからこそ気付く目線も伝えられる!!!本当に、社内育成に効果を発揮するサービスだと感じます。



そして自分自身の経験から自信もって言えるのは、移住や子育て等のそれぞれの理由あって現場に行けない人でも仕事を継続できる環境が整えられる点が大きなメリットです。もし Log System がなかったら、移住を機にこの仕事を続けるのを諦めざる得ない環境だったと思います。このサービスがあったから、続けられています。さらに、今後の採用活動も新しい視野で展開できますよね。全国には現場管理に関する知見を持っている素晴らしい人はたくさんいると思います。エリア限定ではなく、場所問わず採用できる職場環境が整えられるのは会社としても強い武器になりますね。



株式会社 OKUTA は、OKUTA Family ミッション・ステートメントに則り、住生活事業を通じて、安全、健康、環境に配慮した住文化の在り方と、持続可能なライフスタイルを提案・創造することで、地球環境と共生する社会の実現に寄与する。未来へ紡ぐために「個」を尊重し、「知」を結集し、「信頼」を得る努力を怠らない。

無垢材や珪藻土などの自然素材、インテリア雑貨など、心地よさやぬくもりがたくさん詰まった空間で、リフォーム・リノベーション・新築についてご相談頂けます。